

オホーツク地域における金融サービス向上委員会 第3回委員会

開催の経緯・目的

- 金融仲介機能の質の向上を図り、地域課題の解決に向けて取り組んでいくため、令和2年12月に金融機関を中心とした体制・枠組みとして「オホーツク地域における金融サービス向上委員会」を設置。
- 第1回委員会（令和4年6月開催）での議論を経て、この1年間、委員会として「ビジネスマッチングセミナーの開催」と「地域商社の設立に関する研究」に取り組んできた。今般、活動実績や研究成果について分科会から報告を受けるとともに、今後の委員会の活動について議論するため、参加機関代表クラスによる「委員会」を開催した。

委員会の概要

- ・日 時 令和5年6月6日（火） 14:00～16:00
- ・場 所 北見プラザホテル ※対面形式で開催
- ・参加機関 北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、JA北海道信連、北海道信用保証協会、日本政策金融公庫、北海道財務局 ※3機関は欠席
- ・次 第 ①開会挨拶（金融サービス向上委員会委員長 片山 北見信用金庫理事長）
②分科会の活動経過及び議論内容について（分科会に設置したプロジェクトチームより活動実績・研究成果報告）
③金融サービス向上委員会の体制・運営について（設置要綱策定・委員長改選等）
④閉会挨拶（北海道財務局 菊地 北見出張所長）

当日の様様



委員が一堂に会して対面形式で開催。分科会からの報告を踏まえて、1年間の活動実績と研究成果を整理した後、今後の委員会としての活動方針について議論が行われた。



片山委員長
開会挨拶



分科会からの報告・提案に対して、各委員から委員会としてどのように地域課題に取り組んでいくのか、様々な意見が出された。



第3回委員会での確認事項

1. 分科会の活動経過及び議論内容について

分科会からの報告（次ページ参照）を踏まえ、委員会から分科会に対して次の点を要請する。

- ①ビジネスマッチングの活性化に向けた取組みの深化、②「地域商社」設立に向けた研究・検討の継続、③金融機関・支援機関の横連携による事業者支援スキームの構築、に着実に取組み、委員会へ進捗状況を報告すること。
- 特に金融機関職員向けセミナー・勉強会の開催と具体的なビジネスマッチングへの取組みについては、速やかに具体策を検討し、実行に向けた準備を行うこと。
- 事業者支援スキーム構築に係る課題を検討し、来年6月頃までにスキーム案を委員会に報告すること。

2. 金融サービス向上委員会の体制・運営について

- 委員会の設置要綱を策定。今後は設置要綱に基づき委員会の運営を行う。
- 委員長を改選（任期1年間）。次期委員長には、伴 道弘 網走信用金庫理事長が就任する。

委員会での主な意見

- ✓ 委員会の構成機関同士が連携して、ビジネスマッチングに取り組めるように検討を進めてほしい。
- ✓ 5月に開催したセミナーは、地域ブランドの確立や消費者にとって魅力のある商品の開発について非常に勉強になった。今後も継続して開催してほしい。
- ✓ 地域商社を設立するとなると、地域の課題をもう少し深掘りする必要がある。さらに研究を進めてほしい。
- ✓ 地域商社の設立はハードルが高い取組みではあるものの、今後も設立に近づける努力、研究を続けていくことが必要だと感じる。
- ✓ 地域商社を介して地域産品を販売したほうが、消費者を含めてメリットが大きいことを訴求することが重要。そのためには、ビジネスモデルの構築が重要な論点になる。採算性を含めてさらに深掘りしてほしい。
- ✓ 当地域のブランディング、プロモーションはまだまだという部分がある。地域商社の機能にブランディングなどを加え、当地域を全国に発信していくことも考えられる。
- ✓ 事業者支援スキームの構築は、マッチングや事業承継に効果が期待できる取組みだと感じる。引き続き、分科会での議論・研究を進めてほしい。
- ✓ 地域一体で課題解決に向かうには、自治体や商工会議所、商工会などと連携した取組みができるとうい。

分科会

ビジネスマッチングセミナーPT

【目的】ビジネスマッチングセミナーの開催

地域商社PT

【目的】地域商社設立に関する研究

- ✓ 委員会として開催するセミナーの具体的内容、講師等、セミナーの実施に向けて議論。
- ✓ 令和5年5月15日「オホーツク産品の販路拡大」をテーマに、オホーツク地域金融機関連携セミナー開催。金融機関取引先を中心に20社26名が参加。

- ✓ 地域商社等4先にヒアリングを実施するなど、地域商社や金融機関等が連携して事業者支援に取り組んでいる先行事例について研究。
- ✓ 金融機関が共同出資して地域商社を設立する際の法制度及び課題等について研究を実施。

【今後、委員会として取り組みたい事項】

1. ビジネスマッチングの活性化に向けた取組みの深化

- ✓ 他機関との共催なども視野に、事業者向けビジネスマッチングセミナーの開催を継続
- ✓ 金融機関職員向けに販路拡大・マッチング支援に係る意識醸成のためのセミナー、勉強会を開催
- ✓ 事業者のニーズを踏まえ、具体的なビジネスマッチングへの取組みを検討、実施

2. 「地域商社」設立に向けた研究・検討の継続

- ✓ 地域商社の設立に関して、オホーツク地域の自治体や関係団体、事業者と意見交換を実施
- ✓ 地域商社のビジネスモデル検討（ビジネスモデルの軸の一つに「オホーツクブランド」を据える）

3. 金融機関・支援機関の横連携による事業者支援スキームの構築

- ✓ 他地域の事例を参考に、管内の金融機関・支援機関が情報連携・横連携して個別事業者の支援を行う「具体的な支援スキーム」の構築を検討する（支援スキームは、ビジネスマッチングや事業承継での活用を想定）